


システム構成機器

<b>ターミナルユニット</b> <b>PM-T51</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●発言・採決ボタンを搭載。イヤホン端子を装備。</li> <li>●本体の設定でマスタータイプ、メンバータイプ、サブマイクのタイプ選択が可能。</li> </ul>	<b>グースネックマイクロホン</b> <b>PM-TA5L(ロング)/PM-TA5S(ショート)</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●議長席や発言席用のロングタイプを用意。</li> <li>●根元とマイク付け根の2ヶ所フレキシブルを採用。</li> </ul>	<b>コントロールユニット</b> <b>PM-M550</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●入力7系統、出力5系統のミキサー機能を搭載。</li> <li>●SDカードスロットとUSB端子を装備し、本体だけで2つのメディアへの同時録音が可能。</li> </ul>	<b>21.5型タッチパネルモニター</b> <b>FDF2121WT-A</b>  <small>[EIZO製]</small> <ul style="list-style-type: none"> <li>●21.5型のフルHDタッチパネルモニター。</li> </ul>		
<b>ジャンクションボックス</b> <b>PM-X50</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●コントロールユニットとターミナルユニットを中継して、ターミナルユニットの接続台数を増やすことができるユニット。</li> <li>*ACアダプター(167-CN01-K007)別売</li> </ul>	<b>HD PTZリモートカメラ</b> <b>AW-UE50W/AW-UE50K</b>  <small>[パナソニック製]</small> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ネットワーク経由で遠隔からパン/チルト/ズームの操作ができ、議場の狙った被写体を撮影可能。</li> </ul>	<b>無線ターミナルユニット</b> <b>PM-T51W</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●採決ボタン3つを搭載。</li> <li>●給電は専用バッテリーとACアダプターから選択可能。</li> </ul>	<b>無線LANコントローラー</b> <b>PM-WC50</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●コントロールユニットとアクセスポイントとの間に設置して無線接続をコントロール。</li> <li>●アクセスポイント2台分のPoE給電が可能。</li> </ul>	<b>アクセスポイント</b> <b>PM-AP50</b>  <small>天井 壁面</small> <ul style="list-style-type: none"> <li>●無線LANコントローラーと有線で接続し、無線ターミナルユニットと無線通信。</li> <li>●1台で無線ターミナルユニットを40台まで接続可能。</li> </ul>	<b>無線ターミナル用バッテリー</b> <b>SL-F50PD(バッテリー)</b>  <small>[IDX製]</small> <b>UC-PD3(充電器)</b>  <small>[IDX製]</small>

ソフトウェア

**会議システムソフトウェア**  
**TZ-PM5003**



- 当日の運営が簡略化できるシナリオモードを搭載。
- マイク・カメラ・テロップの連動機能。
- タッチパネル式の簡単操作。マウス操作も可能。
- 発言者ログファイルを出力。
- 開会時に自動録音・録画。
- 録音・録画の残量が少なくなるとアラート表示。
- 各入出力の音声調整機能。
- 演壇や質問席にはドラッグ&ドロップの簡単操作。
- 座席エリアの大きさに合わせたメニューの左右開閉機能。
- マイク点検以外にシステム点検機能を搭載。
- 残時間表示機能を標準搭載。


**オプションライセンス(別売)**

- [採決ライセンス]: 場内用大型モニターなどへの採決表示機能。
- [カメラ表示ライセンス]: 操作画面内のカメラ映像表示機能。
- [多点制御ライセンス]: サーバーとクライアントの冗長化で、万が一の故障に備える多点制御機能。
- [オーディオテクニカ製赤外線マイク制御ライセンス]: オーディオテクニカ製「ATUCシリーズ」を操作可能\*1。

\*1 PM-5000シリーズのターミナルユニットを混在使用することはできません。ATUCシリーズの採決機能は使用できません。

会議システムソフトウェア

**会議システムソフトウェア**  
**TZ-PM5000L**



- 会議システムソフトウェア\*jmee\*の操作性を継承した廉価版ソフトウェア。
- マイク制御、録音、採決、場内表示、シナリオモードなどの標準機能を搭載。

**機能比較 [TZ-PM5003/TZ-PM5000L]**

ソフトウェア/機能	会議中					会議の準備・設定		点検モード
	マイク制御	採決機能	録音・録画	場内表示	カメラ制御テロップ	情報登録※2	パターン登録※3	自動点検
jmee [TZ-PM5003]	○	○	○	○	○	○	○	○
jmee Lite [TZ-PM5000L]	○	○	△ (録音のみ)	○	-	○	○	○

※2 情報登録: 議員、執行部、議案、メッセージ、会派、委員会、議長、シナリオ ※3 パターン登録: 座席項目、座席配置、採決結果配置、AVシステム設定、マイク設定

●仕様および外観は、予告なく変更することがあります。●写真と実際の商品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合もあります。●画面はi/メコム合成です。●記載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。●TZ-TRACER、jmee(ジェイミー)は株式会社JVCケンウッドの商標、または登録商標です。●WindowsおよびWindows Mediaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。●AmiVoice®およびロゴマークは、株式会社アドバンス・メディアの登録商標です。●その他、記載された社名、製品名等の固有名称は各社の商標または登録商標です。



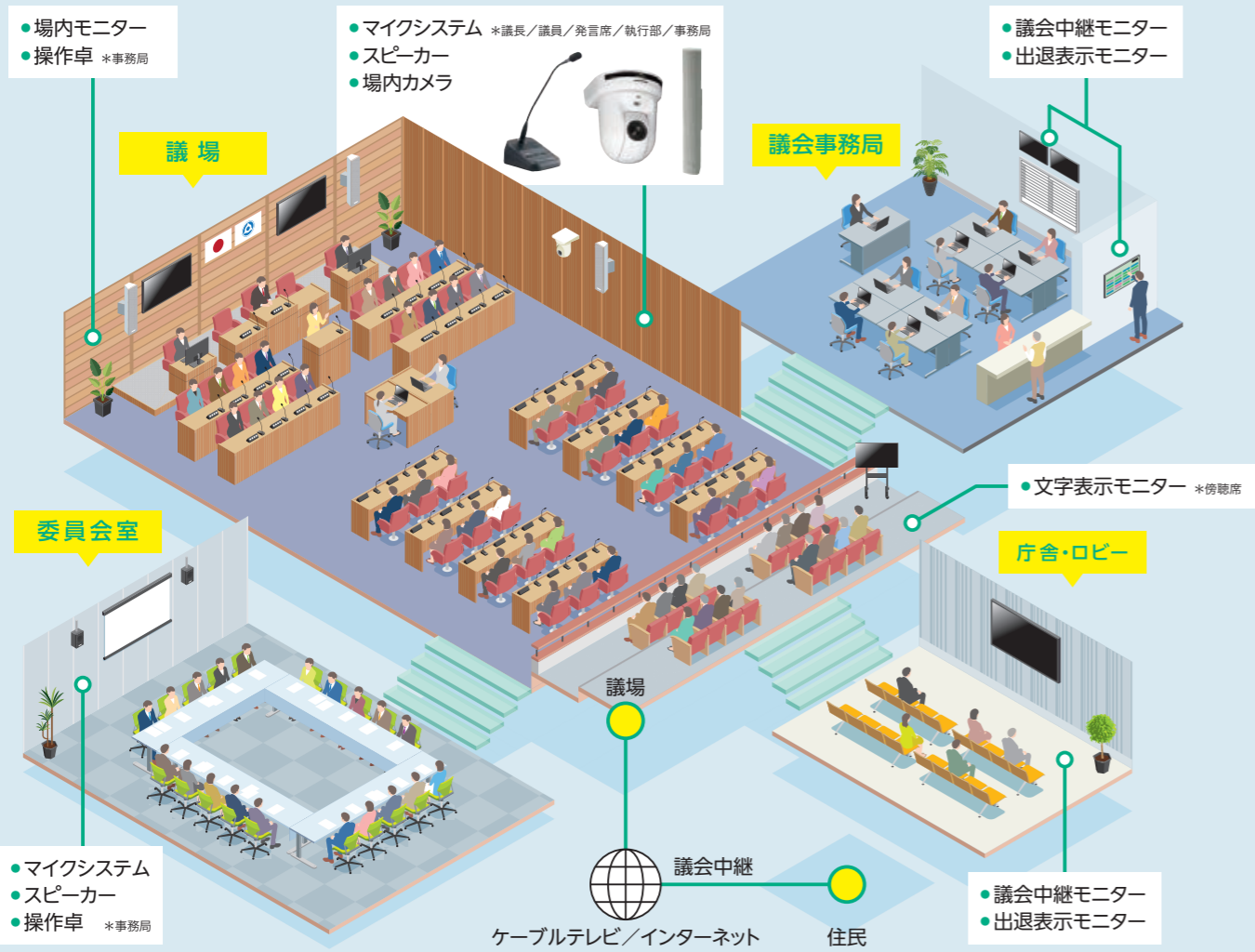
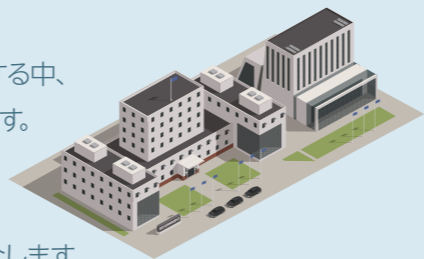
自治体・公共ソリューション

議場システム

クリアな音声、使いやすさに配慮した充実の機能。スムーズで効率的な議会運営を実現します。



近年、地方自治体においては、少子高齢化の進行やインフラの老朽化など地域問題が多様化する中、合意形成が困難な課題を民主的に解決するため、議会の担う役割が一層重要となってきています。また、住民からの信頼確保、議会審議の充実など『開かれた議会』を目的とし、ケーブルテレビやインターネット等での議会中継、審議記録の公表など、情報の積極的な広報が行われています。議会運営における『安心・快適』と『業務効率化』をサポートする、当社の『議場システム』をご紹介します。



### 議会運営の設備や、情報バリアフリー化の課題はありませんか？

議場内の音響、ノイズやハウリングで音響調整が非常にたいへん...

カメラやマイクの切替、残時間表示と職員の手がかかる...

議会における情報バリアフリー化を推進したい...

議会運営におけるお客様の課題を、音響と映像のプロフェッショナル＝JVCケンウッド・公共産業システムが解決します！

JVCケンウッド・公共産業システムは、約60年間にわたり業務用音響・映像システムを開発・製造・販売しております。これまで培った経験やノウハウで、議会向けに特化したシステム開発を通して、円滑な議会進行と業務効率化をサポートしています。

### フルデジタル会議システム「PM-5000」シリーズ

導入後も安心の国内製\*。クリアな音声、使いやすさに配慮した充実の機能。スムーズで効率的な議会運営を実現します。

\*主要機器およびソフトウェアは、JVCケンウッドグループが開発・国内で製造を行っており、海外製に比べて保守や部品交換なども迅速に対応が可能です。



## JVCケンウッドの『議場システム』は、議会における出席者と住民の『安心・快適』をサポートします。

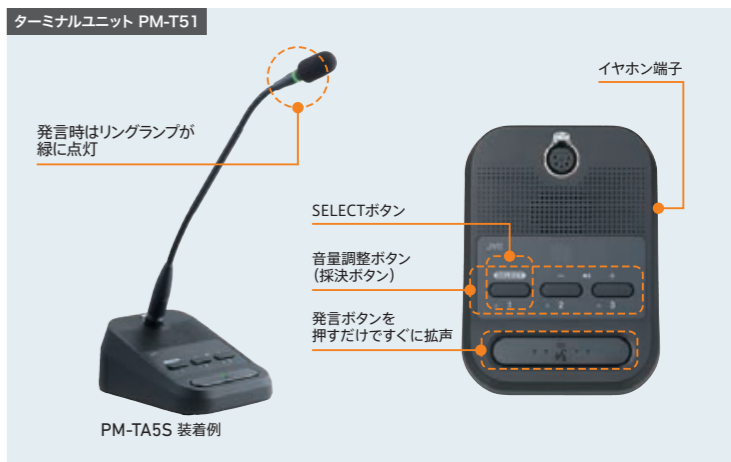


フルデジタル会議システム「PM-5000」シリーズを核に、議会運営を支援!!

### 使いやすさに配慮されたターミナルユニット

ターミナルユニットは議会の出席者数に応じて、最大240台まで拡張が可能です\*。運用時は、議長と事務局には「マスターモード」、参加者には「メンバータイプ」の割り当て設定を行い、マイク制御が可能です。発言用マイクのターミナルユニットは、ユーザビリティに配慮したデザイン。見ただけで操作が分かり、「発言ボタン」を押すだけですぐに拡声できます。また、「採決ボタン」を装備しターミナルユニット1台で音声と通信を実現します。

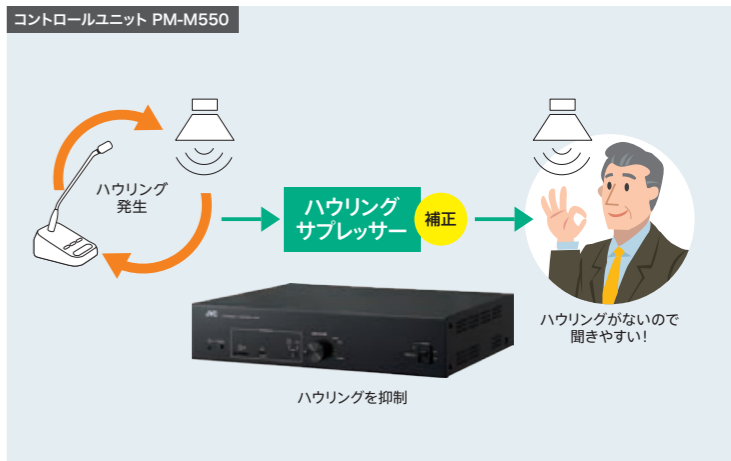
- ターミナルユニット PM-T51 その他の機能
- 発言中の音声の他に、同時通訳音声など4チャンネルの音声切替が可能。
  - 声の大小の差を自動的に調整する「オートゲインコントロール機能」を搭載。
  - 無線システムとの混在も可能なで可動式レイアウトにも対応。
  - 自動点検機能を内蔵しているので安心して運用できます。
- \*1:ジャンクションボックス PM-X50使用時。



### 高品位でクリアな音声伝送を実現

独自のフルデジタル方式を採用し、低遅延でクリアな音声伝送を実現します。コントロールユニットには、不快なハウリング(ピー音)が出ないよう補正し、最適な聞きやすさに調整する「デジタルプロセッサ機能」を搭載。高品位な場内拡声や録音で、ストレスが無く快適な運営をサポートします。

- コントロールユニット PM-M550 その他の機能
- SDカードスロットとUSB端子を装備し、本体だけで同時録音とリレー録音の選択が可能。
  - バックアップ録音機器を接続する録音出力端子を装備。
  - 聞き取りづらい「さしすせそ」音を調整する、「ディエッサー」をデジタルプロセッサ機能に搭載。

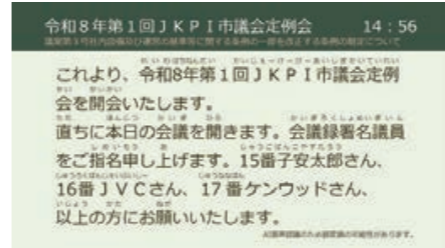


### 「聞きやすさ」と「見やすさ」を支援

高品位な音響・映像システムで、「聞きやすさ」と「見やすさ」を支援します。議場および庁舎内の各モニター、場内カメラ、スピーカ―等、お客様の要件やご要望に合わせて最適なシステムをご提案します。

**Pick Up** 情報バリアフリー化を支援する「音声認識表示システム」▶P.05

発言者の音声をリアルタイムに文字化して傍聴席モニターに表示。議会運営の情報バリアフリー化をサポートします。



# JVCケンウッドの「議場システム」は、高品位な音響と映像で議会運営の『業務効率化』をサポートいたします。

フルデジタル会議システム「PM-5000」シリーズを核に、議会運営を支援!!



## 議会運営に特化した専用システムソフトウェア「jmee(ジェイミー)」

会議システムソフトウェア「ジェイミー」は、タッチパネルで発言者を指定するだけの簡単操作で、発言者のマイクがオンになります。システム機器への録音・録画も自動的に連動。[カメラ操作パネル]で発言者をズームアップし、[テロップ操作パネル]で発言者名を自動で入れるので、編集の必要がありません。

議場操作席/録音室など最大3か所から操作できるので、役割を決めて運営が可能です。

デジタルなので録音や記録映像のコピーや配信も簡単に行えます。

操作画面例



タッチパネルで簡単操作!

## 当日の運営を支援する多彩な機能 ~ シナリオ・残時間表示・採決

場内モニターに表示する議案やメッセージ、残時間、映像に表示するテロップを、予めスケジュール化しシナリオを登録。当日は、「表示実行」ボタンを押すだけで、次のシナリオが表示されます。また、残時間や休憩時間を場内モニターに表示できます。設定により指定した時間にチャムを鳴らすことも可能。オプションで採決機能を使用できます。議員用ターミナルユニットの採決ボタン押下の結果を集計し表示。採決結果はログとして保存されます。

シナリオモード画面例



「表示実行」ボタンを押すだけで、次のシナリオを表示

表示中のイメージ

待機中のイメージ

シナリオ一覧

突発的に発生した内容を表示したい場合は途中編集も可能

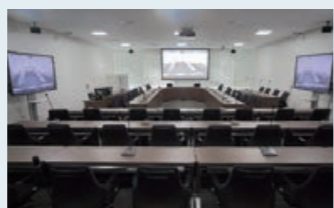
残時間・採決表示例



## さまざまなシーンに最適なシステムをご提案

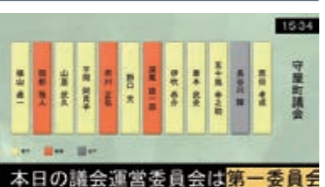
議場だけでなく委員会室の音響・映像システムもお任せください。遠隔地との「ビデオ会議」や、録音/録画からの「文字起こし」など、お客様の要件やご要望に合わせて最適なシステムをご提案します。

委員会室 設置事例



### Pick Up 議員の登退庁をモニター表示「出退表示システム」 P.06

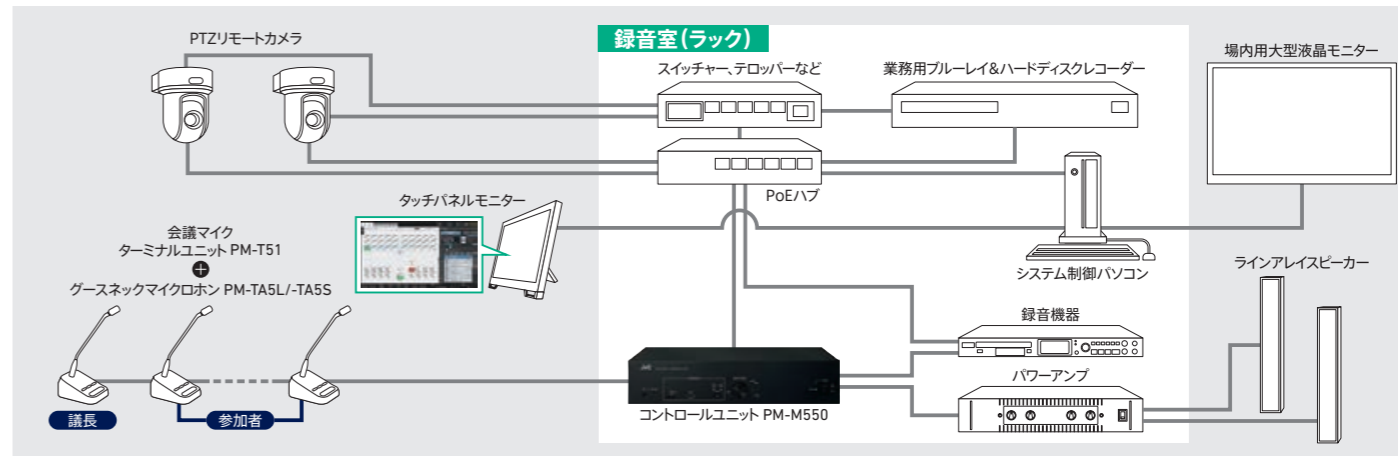
タッチパネル操作で登庁・退庁を操作、状態をモニターに表示。事務局のパソコンで議員名やお知らせテロップを容易に変更できます。



## ■システム構成例

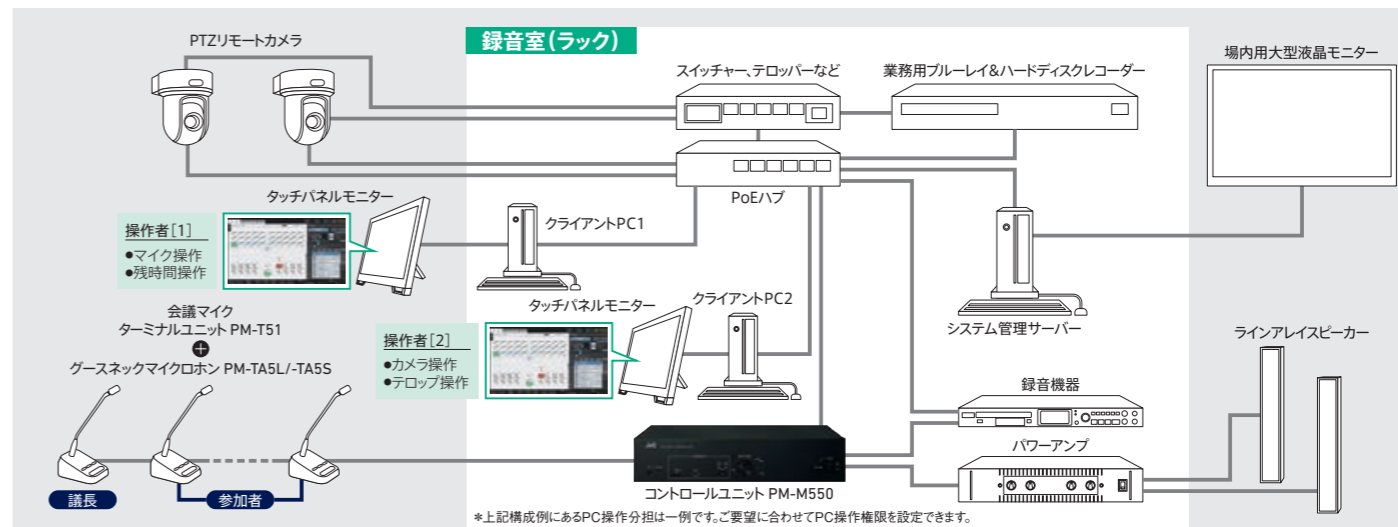
### ①有線システム構成例(ワンマンオペレーションの場合)

場内用カメラ/モニター、録画/録音機器を加えた基本システムです。操作は事務局1名で操作を行うことができます。



### ②有線システム構成例(複数人オペレーションの場合)

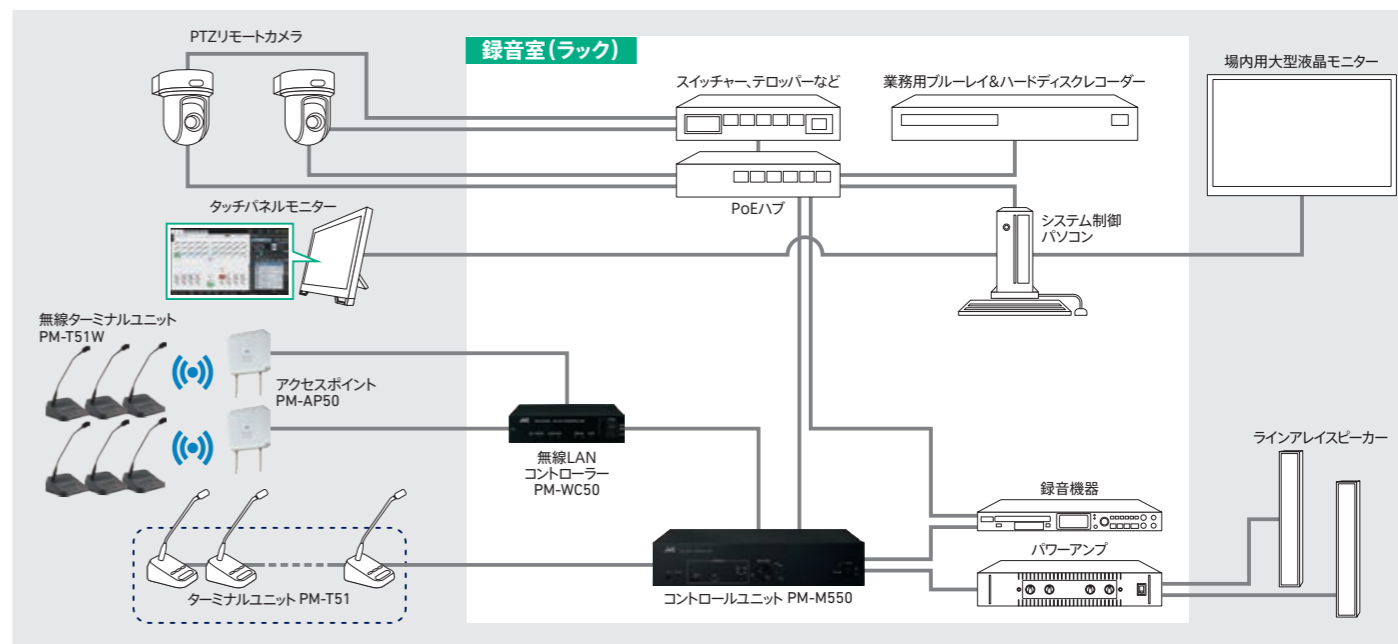
規模の大きな議場や、映像配信を行う議場では、音響(マイク)や映像(カメラ)の操作を、事務局職員が複数で行うシステムを構築できます。



※オプションとして、システム管理サーバーが故障した際に自動的にバックアップサーバーに切り替わる冗長化システムを構築できます。詳しくはお問合せください。

### ③有線+無線式 混在システム構成例(ワンマンオペレーションの場合)

場内のレイアウトが変更可能な議場では、無線式ターミナルを組合せることでシステムを構築できます。



場内モニター、場内スピーカー、場内カメラ、カメラ映像スイッチャー、テロップ、録画・録音機器など、お客様の要件やご要望に合わせてご提案いたします

# 音声認識表示システム

発言をリアルタイムに文字化して表示し、議会運営のバリアフリー化を推進。



全国の地方議会では昨今、「開かれた議会」に向けた取り組みとして、バリアフリーの対応が求められています。傍聴席の難聴者支援についてはこれまで、赤外線ラジエーター方式や磁気ループ方式といった通信システムや、手話通訳の導入が主流でしたが、設置費用などのコスト面や継続的な運用面で課題を抱えています。発言者の音声をリアルタイムに文字化して表示する「音声認識表示ソフトウェア」が、「聞こえにくい」「わかりにくい」を解消し、バリアフリー化を推進。議会運営の課題を解決します。

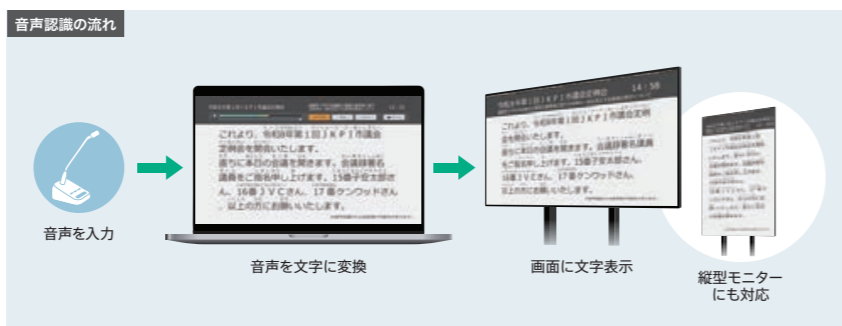


## 主な機能・特長

### あいう リアルタイムに文字起こし

音声認識エンジン[AmiVoice®]を搭載し、高い認識率\*で、音声をリアルタイムに文字データに変換。地域特有の人名や地名などの単語登録、禁止用語登録の機能も装備。認識結果のテキスト保存(txt、csv、tsv)、認識音声データの保存(wav)が可能なので、認識精度の確認や、議事録作成にも活用ができます。

\*本ソフトの音声認識精度は、会議の内容や発言者、環境により変化します。会議の内容に関わらず、口元で集音できない場合は、認識精度が大きく下がります。  
●AmiVoice®およびロゴマークは、株式会社アドバンスト・メディアの登録商標です。



### あいう 「文章表示」と「字幕表示」が可能

文字化したデータは、場内モニターに適した「文章表示」、映像配信に適した「字幕表示」が可能。文章表示画面は、モニターの設置シーンに合わせて、横表示と縦表示の画面を選択できます。また、すべての表示画面および管理画面で、カラーユニバーサルデザイン認証を取得。人によって異なる色の見え方の違いに配慮し、長時間見続けても疲れにくく、明度の高いトーンでやさしい色使いを基本としています。

この音声認識表示ソフトウェアは、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮して作られています。NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により認証されています。



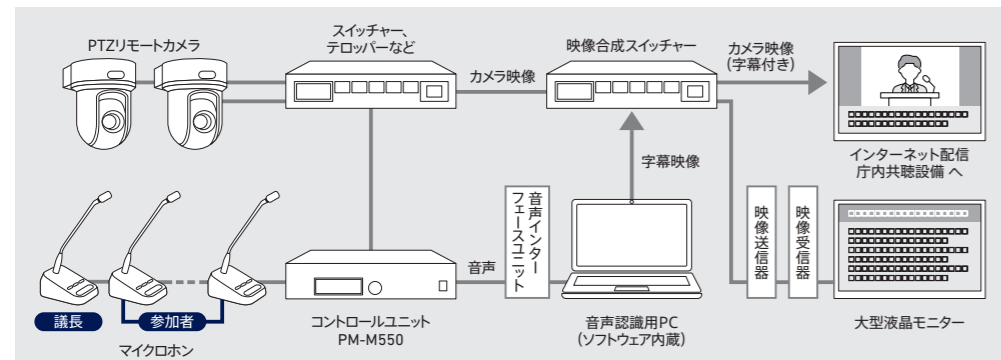
### オフライン運用で情報セキュリティも安心

インターネット接続をしないオフライン運用(ローカル認識型)のため、情報漏洩リスクの心配がなく、セキュリティ面でも安心です。また、オフライン運用のもう一つのメリットとして、使用に応じたクラウド利用料が発生しません。導入時にはソフトウェア「TZ-TRACER」と、年間利用料(音声認識エンジンのライセンス)でご提供します\*。  
\*詳しくは、当社営業窓口へご相談ください。

### 「使いやすさ」と「見やすさ」を支援

- ふりがな付与機能(平仮名、カタカナ切替)
- 文字サイズ、ルビ(ふりがな)サイズ、表示カラー選択機能
- フォント選択機能(メイリオ、BizUDゴシック、UD教科書体NP-R 切替)
- 表示画面及び操作画面上の注釈表示機能
- 会議システムソフトウェア「jme」との連動機能

## システム構成例(会議システムソフトウェア「jme」連動例)



機器構成例		
音声認識用PC	-	1式
音声認識表示ソフトウェア(ライセンス込み)	-	1式
音声インターフェースユニット	-	1台
映像合成スイッチャー	-	1台
映像送信機/映像受信機	-	1式
大型表示モニター	-	1台

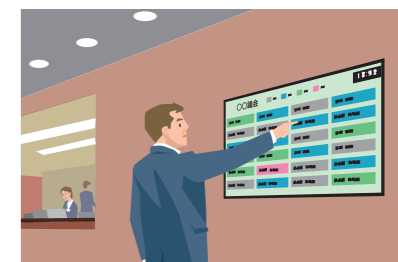
※取付工事、設置設定費用、取付金具・ケーブルなどは別途

# 出退表示システム

議員の登退庁状態が一目でわかる、モニター式の見やすい表示設備で業務効率化を推進。



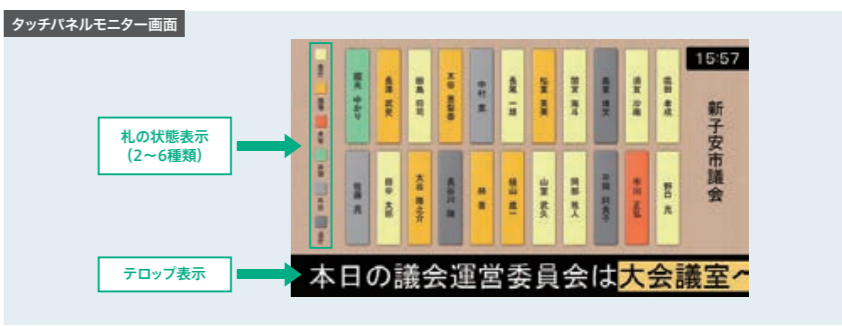
多くの地方議会では議員の登退庁状況を知らせるために、出退表示盤が使われていますが、従来のスイッチ電光式の出退表示盤は、議員名変更の度に名板を作成しなければならず、老朽化した機器の修理やメンテナンスも容易ではありません。タッチパネル操作で登庁・退庁を操作、状態をモニターに表示する「出退表示ソフトウェア」は、モニター式の出退表示システムです。事務局のパソコンで議員名やお知らせテロップを容易に変更できるため、議会運営の効率化に役立ちます。



## 主な機能・特長

### タッチパネルで簡単操作

議員はタッチパネル操作で「登庁/退庁」の札状態を切替えます。加えて初期設定により「議場/来客対応/外出/休憩」など計6種の札色を切り替えます。タッチパネルで変更した札色は、即時にモニターに反映されます。事務局では、管理用PCで初期設定(議会名・議員名の登録、札数・札色・背景色の設定)に加え、登庁/退庁の切り替えができます。また、職員用PCでは出退状況の確認が可能(管理用PCと同一ネットワーク、Webブラウザ接続時)。さらに、お知らせテロップを編集入力し、出退表示の画面下に表示が可能です。



### バランスのとれた見やすい表示画面

議員名を表示する札は出退表示盤をイメージした縦札とスマートな印象の横札を用意。縦札は12人~60人、横札は30人~60人に対応。人数に適したバランスのとれた配置で見やすい表示を実現します。表示画面は、加齢による色感度の変化や色弱など、人によって異なる色の見え方の違いに配慮した「カラーユニバーサルデザイン」で見やすい色としています。背景画は庁舎意匠に合うよう、グレー/ベージュ/グリーンなど7種類を用意しています。

この出退表示ソフトウェアは、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮して作られています。NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により認証されています。



### 非常時には通知画像を表示可能

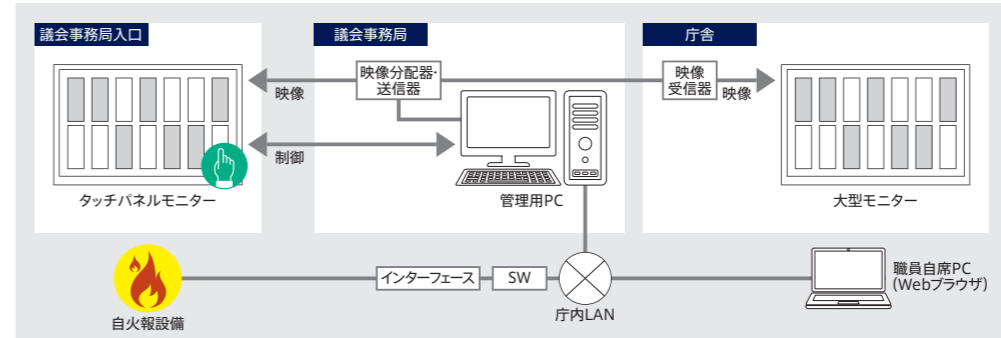
火災発生などの非常時には、自火報設備や非常放送設備から信号を受信し、自動的に非常通知画像に切替え表示。来訪者の避難を促します。  
\*別途インターフェースと初期設定が必要です。



### 「使いやすさ」と「見やすさ」を支援

- 標準仕様で最大60人まで表示可能、2~6種類の札状態を初期設定可能
- 議員名・議会名・議員の状態(登庁・退庁など)が編集可能
- 札色は暖色系と寒色系の2パターンを用意、背景画を7種類用意
- 任意文字・画像・スクロール文字を編集可能
- 札の状態変更ログを確認、エクスポート可能
- パスワードによるログイン操作で、一般ユーザー/管理者ユーザーの切替え可能

## システム構成例



機器構成例		
管理用PC	-	1式
出退表示ソフトウェア	TZ-SIGN	1式
タッチパネルモニター	-	1台
大型モニター	-	1式
映像分配器・送信機/受信機	-	1式
自火報設備接続用インターフェース	-	1式
スイッチングハブ	-	1台

※取付工事、設置設定費用、取付金具・ケーブルなどは別途

夕張市議会様 [北海道夕張市] 導入システム フルデジタル会議システム:PM-5000

有線/無線マイク混在型のフルデジタル議場システムを導入。コロナ対策にも対応し、円滑な議会運営と機能強化を実現。



▲執行部を除く各議員は無線マイクを自分専用とし、本会議場でも委員会室でもシームレスに活用。機器類の移動もワゴンによりスムーズ。

▲本会議場では全ての機器が連動し、議事進行をサポート。

▲システム制御はタッチパネルで操作も簡単。

導入背景

夕張市議会では新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を受け、経年劣化が進んでいた議場内システムのリニューアルを決定。「高音質」や「高画質」に加え、有線/無線マイクのハイブリッド、映像・音響機器と連動したソフトウェアの操作性を高く評価。

お客様の声



最大の特長は、本会議場のマイクを執行部は有線、議員は各自専用の無線にして、**会場を移動してもそのまま使える**にしたところ。従来、委員会室のマイクは使い回しでしたので、新型コロナの交付金を充当させて頂くという意味でも、大切なポイントでした。JVCケンウッドは有線/無線マイクのハイブリッド化に対応。製造から保守まで、すべて国内体制という点も安心につながっています。これまで運用は離れた録音室で2人で操作していましたが、**議場内で1人で出来るようになりました。マイク/カメラ操作や録音/録画も自動で連動し、事前のマイクチェックも全てタッチパネル上で行える**ので運用面の使い勝手は格段に向上。将来的にはネットでの議会中継なども考えています。

小清水町議会様 [北海道斜里郡小清水町] 導入システム フルデジタル会議システム:PM-5000

新設の防災拠点型複合庁舎にフルデジタル議場システムを導入。多彩な機能をワンオペで実現し、円滑な議会運営をサポート。



▲無線式マイクで議場でも委員会室でも場所を選ばずマイクを活用可能。

▲各種機器をタッチパネルで簡単操作できる会議システムソフトウェア「jmee」でワンオペ運用を実現。

導入背景

小清水町議会では防災拠点型複合庁舎「ワタシノ」の新設に伴い、議場システムを一新。議場・委員会室を問わずシームレスな運用と収納可能な無線マイクシステムを採用し、マイク操作/カメラ/テロップ表示を連動するタッチパネル式高機能ソフトでワンオペを実現。

お客様の声



旧庁舎のころから議場および委員会室は議会専用ではなく、会期外は会議室として利用しますので、**マイクシステムが自由に移動できること**、また事務局の体制から**一人で操作できること**などが選定基準となりました。検討した結果、無線式マイク/カメラ/テロップ表示をタッチパネルで簡単にワンオペ操作できるJVCケンウッドのシステムに決められました。



マイクシステムは**クリアで高音質**、雑音や音切れもありません。またマイクごとに音量調整ができるため、声の大小に関わらず**一定の聴きやすさ**が保たれるようになりました。このシステムを活かして現在、**庁舎内各所のモニターで議会中継**を行なっています。先日の定例会でも、ラウンジのモニターで大勢の町民の方が視聴されたようで、反響もたくさん頂戴しました。今後もネット中継や動画配信サイトなどを利用してさらに多くの方々に議会活動を広めていきたいと考えています。

豊島区議会様 [東京都豊島区] 導入システム デジタル会議システム:PM-3000

各種映像・音響機器を一元制御可能な議場システムを導入。スムーズな議事運営と議会機能の強化を実現。



▲本会議場、1議席に1本マイク対応

▲議員協議会室、場内表示映像(発言残時間表示)

▲議長用マイクターミナル(左)、タッチパネル対応操作画面(右)

▲委員会室、スクリーンや大型モニターを設置

導入背景

新庁舎建設計画のスタートに伴い新たな議場システムを検討。ノイズやハウリングが問題の放送設備や旧型カメラの入れ替えを含むシステムの企画競争を実施。「タッチパネル式の統括オペレーション」や「ノイズ・ハウリングの少ない高音質」などを評価し、JVCケンウッドのデジタル会議システムを採用。

お客様の声



以前に比べノイズ、ハウリングが解消。高音質、高画質になったことで、ネット中継を含め閲覧者だけでなく事務局職員の評判も上々です。運営面でも**タッチパネル上の議席アイコンのワンタッチ操作**で、①マイク操作、②カメラアングル、③テロップ表示が連動するので、**操作面の負担が大幅に軽減**。煩雑だった**事前の準備作業も軽くなりました**。JVCケンウッドは、**施工時の他業者との調整などもスムーズ**。システムノウハウにも優れ、事前提案設計から導入後の変更や微調整に至るまで、丁寧に対応して頂きました。

奈良県議会様 [奈良県奈良市] 導入システム デジタル会議システム:PM-1000

高音質&高機能な議場放送システムを導入。スムーズな議事運営を実現し、議会機能を強化。



▲議長用マイク(埋込型)

▲執行部用マイク(埋込型)

▲タッチパネル対応操作卓

▲議場内スピーカー

▲傍聴席向けスピーカー

導入背景

議場放送設備の経年劣化により、「音声が届きにくい」などの事象が確認されたことから、放送設備の入れ替え整備を実施。「隅々まで聴きやすい高音質、ハウリング抑制、音量の均一化」などの機能を備えた議場放送システムが採用されました。

お客様の声



放送機器の一新に加え、スピーカーレイアウトまでを見直したことで、**「聴きづらさ」の問題は議場内/傍聴席ともに改善**されました。複数のマイクを使用する度に発生していた**ハウリングも抑制**されています。



運営側の事務局としても操作卓で**タッチパネルとマウスの両方が使える**ので便利です。

大分県議会 様  
[大分県大分市]

導入システム フルデジタル会議システム:PM-5000  
音声認識表示ソフトウェア:TZ-TRACER

リニューアルした議場に最新のフルデジタル議場システムを導入。場内音響設備の一新で、議会運営の効率化と職員の業務負担軽減に貢献。



▲議長マイク(埋込型) ▲演台マイク(埋込型) ▲議員マイク(卓上型)  
▲事務局操作卓 ▲場内表示モニター/場内カメラ ▲傍聴席 字幕表示モニター

**導入背景** 従来システムの老朽化による不具合で議会運営への影響を懸念。操作性・保守性に優れた統合型システムへ更新。

お客様の声

以前のシステムでは複数の操作を必要としていたカメラやマイクの切替が、今はワンタッチで直感的に行えるようになりました。新任職員でも扱いやすく、ミスの軽減にもつながっています。また、傍聴席に設置した字幕表示モニターは、聴覚に障がいのある方や高齢者の方からも好評です。

将来的にはインターネット配信画面への字幕挿入や、無線による資料提示など、さらなる省力化・情報共有の強化も見据えています。

うきは市議会 様  
[福岡県うきは市]

導入システム フルデジタル会議システム:PM-5000

歴史のまち、うきは市議会が最新のフルデジタル議場システムを導入。高音質&最新機能でスムーズな議事運営と議会機能強化を実現。



▲議場内の全マイク・自動追尾カメラ・文字テロップが連動し、議事進行をサポート。 ▲議長マイクはモニタースピーカー内蔵。傍聴席には埋込型スピーカーを設置。  
▲見やすいGUIによる直感的なタッチパネル操作で、一人でも簡単運用。 ▲傍聴席モニターの映像は、市役所1Fロビーにも同時配信。

**導入背景** 音響機材の老朽化に伴うリニューアル。フルデジタル会議システムを軸に、高音質収録・自動追尾カメラを連動させたシステムと保守体制を評価。

お客様の声

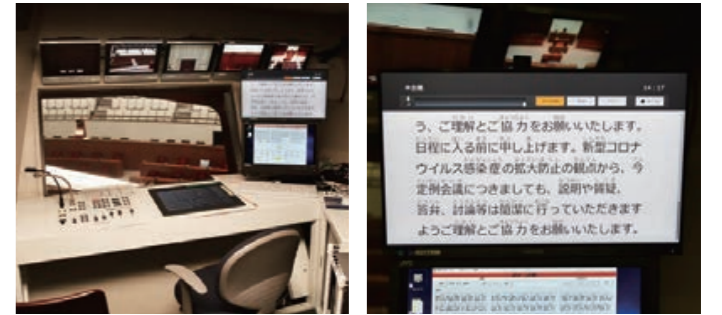
人により異なる声の大きさも、このシステムでは音量が自動的に均一化されて聞きやすく、議員の方々にも好評です。また、議事録を残すために重要な「音声による議事収録」も高音質で記録され、大きな安心となっています。

ストリーミング中継や動画配信サイト公開など、今までも様々な取り組みをしてきましたが、音声・映像・操作が連動する議場システムの導入は今回が初めて。テロップ表示やHDカメラでのライブ中継など、傍聴席やロビーに議会の様子が生き生きとお伝えできればと考えチャレンジしています。

相模原市議会 様  
[神奈川県相模原市]

導入システム 音声認識表示ソフトウェア:TZ-TRACER

音声認識表示ソフトウェアで、発言をリアルタイムに文字化。傍聴者に分かりやすい、バリアフリーな議会運営を推進。



▲議場内すべてのシステム操作・制御を行う『録音室』 ▲音声認識文字表示はPC1台でのローカル運用。議会運営システムと連携し、効率良く一元的に運用・管理。

**導入背景** 議会改革を推進する相模原市議会では、本会議場の傍聴席に字幕表示モニターを設置。市政情報を届けるためのバリアフリーな環境を整備。

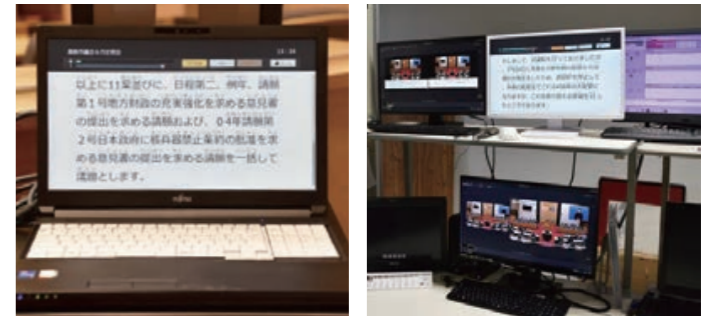
お客様の声

現状の議会運営システムがJVCケンウッドだったことから、操作性や運用性、定期的なメンテナンスなどの一貫性を考慮して「TZ-TRACER」を検討。リアルタイムの表示スピードや早口でも認識でき、ふりがな付き表示が高評価。ネットに依存しないローカル運用型であることも重要なポイント。音声がリアルタイムで文字として確認でき、高齢者や難聴者にも優しい環境になりました。また、議会で交わされる言葉には専門用語も多く、聞きそびれた発言や聞き慣れない言葉も目で確認できることで、傍聴者全般の理解にも役立っています。音声の文字データは議会の内容をすぐに確認する場合にも便利。また、ホームページで公開している議会の録画データにも、今後は字幕を付ける予定です。

鳥取市議会 様  
[鳥取県鳥取市]

導入システム 音声認識表示ソフトウェア:TZ-TRACER

より開かれた議会を目指し、音声認識表示ソフトウェアを導入。音声をリアルタイムに文字表示し、議会のバリアフリー化を推進。



▲議場内のノートPCによるローカル運用。傍聴席の音声出力端子を接続し、音声をリアルタイムに文字表示。 ▲議会映像の配信拠点にあるPCでのローカル運用。インターネットのライブ配信動画にリアルタイムで字幕表示をプラス。

**導入背景** 市民に開かれた議会を目指す鳥取市議会では新庁舎移転を機に、議会改革の一環として「手話通訳」に加え、「傍聴席字幕」、「インターネット字幕中継」を導入。

お客様の声

今までも事前予約制での手話対応はあったのですが、中継映像に手話通訳を付けることで改善を図りました。併せて「難聴者の中でも手話の分かる方は全体の約2割程度」というデータから字幕表示の重要性も再確認され、音声認識表示ソフトウェアの導入が決まりました。音声がリアルタイムで文字確認でき、いつでもどなたにも傍聴参加を頂けるようになりました。文字化では誤変換も起こりますが、ふりがななどもあり、要旨はほぼ問題なく伝わっている様子。難聴の方やネット視聴の方、議員の皆さんからも好評を頂いています。議会で交わされる言葉には、専門用語や固有な名詞も多く、今後は単語登録の機能などでさらに精度を上げていくつもりです。このシステムを活用し、より多くの市民の皆に、開かれた情報提供を行っていきたく考えています。